

# 令和3年度事業報告

## 1. 事業概要

令和3年度のわが国の経済は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下、昨年9月に発出された緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除以降、厳しい状況が徐々に緩和されつつあります。国内ではコロナ禍からの回復が見込まれ世界的にもインフレが進む中、ロシアによるウクライナ侵攻により原油や天然ガスなどエネルギー価格や穀物などの原材料が高騰している状況であります。

このような状況の中、令和3年度の事業実績は、年度末正会員数は1,260名で前年度に対し29名の減、受託件数は4,718件で201件の減で、請負・委任の契約金額は、603,118,872円で39,924,731円の減、また、派遣事業の契約金額は138,946,746円で前年比41,900,120円の増となりました。

令和3年度の事業実績は、長引くコロナ禍の影響により大変厳しい結果となりましたが、高齢者の生きがいつくりの充実や生活の安定、地域社会の発展などを目指し、シルバー人材センターが主体となり様々な取り組みを進めてまいりました。

## 2. 事業実施状況

### ★(1) 数値目標の達成について

- ①【会員数】 入会者数は前年より大幅に増加しましたが、退会者も多く、結果的に期末では1,260名となり、目標値1,400名に対して140名(10%)未達となりました。
- ②【契約金額】 目標値750,000,000円に対して、請負・委任と派遣を合わせた合計額742,065,618円となり、目標には7,934,382円(約1%)届かない結果となりました。
- ③【未就業会員数】 目標値200名以下に対して135名(約33%)目標達成となりました。

### (2) 会員の確保・就業機会の提供について

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止対策によるイベント等の開催中止はありましたが民間や公共の宣伝媒体を活用し、年間を通じてPR活動を行いました。
- ② 関連機関を通じて公共施設等へチラシ・パンフレット等の常置を依頼し、受注確保や拡充を図りました。
- ③ 市川市・経済部を通じて、市川市地方卸売市場に「会員募集」と「就業開拓」のPR活動を行いました。

- ④ 一定期間未就業の新入会員に対して個別の就業相談日を案内し、未就業の解消に向けて積極的に努力しました。
- ⑤ 入会説明会は、前年度より6回多い49回実施し、延べ399名の方が参加されました。これにより、シルバー人材センター事業の目的や趣旨に賛同した延べ241名の方が新規入会されました。また、男女比率として女性会員は、トータルで356名と前年比14名増、構成率にして28.2%と前年比4.1ポイント増となりました。
- ⑥ 会員からの就業相談は随時受け付け、未就業の会員には会員状況相談書を通じて希望職種や条件の見直しをお願いするなど、就業会員増を目指しました。また、事務局からの通信紙「シニア通信・アクティブ」に就業会員募集情報を載せて、会員の希望に、より近いマッチングになるように工夫しました。
- ★ ⑦ 派遣事業の受注件数は前年比48件増の100件、就労実人員は前年比61名増の228名、延人員は26,928人日と約31%の成長と堅調な伸びになりました。

### (3) 会員資質の向上、社会参加活動の推進について

- ★ ① 駐輪場管理や公共施設管理に就業している会員450名に、接遇研修を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、「自宅学習」として『接遇力向上』『業務品質向上』について受講し、報告書を提出してもらいました。
- ② 千葉県連合会主催の教育訓練講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため「自宅学習」として3回実施され、『応急手当講習』『防災ガイド』『交通安全ガイド』など知識の向上につながる内容で、109名の会員が受講しました。
- ③ シルバー人材センター会員のボランティア団体「くすの木会」の活動として例年参加していた5月の江戸川クリーン作戦ゴミ拾いは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止となりました。

### (4) 普及啓発活動について

- ① 「いちかわ市民まつり」などの地域や公共団体が主催するイベントや集会などでPR活動を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止となりました。
- ② 千葉県シルバー人材センター連合会主催のシルバーフェスティバルで入会希望者への案内を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止となりました。
- ③ 関連関係機関を通じて、高齢者の利用率の高い施設の窓口で会員募集チラシを配布していただきました。

- ④ 高齢者の利用が多いコミュニティバスの車内中吊り広告と時刻表に「会員募集」と「就業開拓」の広告を掲載し、センター事業の普及啓発に努めました。
  - ⑤ 女性限定の説明会を6回開催し、女性の入会促進を図りました。
  - ⑥ 「シニア通信・アクティブ」を4回発行し、会員との情報共有を図り、併せて会員募集チラシを送付し、会員の配布による募集活動に繋げました。
  - ⑦ 市川市の広報紙に、会員募集記事を掲載し、入会説明会の案内強化に努めました。
- ★ ⑧ 会員確保の新たな仕組みの構築やセンターの最新情報を広くPRするため、ホームページをリニューアルしました。

#### (5) 安全・適正就業の推進について

- ① 千葉県シルバー人材センター連合会主催の安全適正就業推進員の研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため書面開催となり『転落、転倒災害を防止』『安全就業の現状と対策』についての資料が配布され、事故の未然防止に役立てました。
- ② 「シニア通信・アクティブ」に、傷害事故・物損事故の報告および熱中症や健康診査の受診などの啓発記事を掲載し、健康管理について呼びかけました。
- ③ 除草刈払機作業と植木作業の会員就業先へ巡視を行い、安全・適正に就業が守られていることを確認しました。
- ④ 「会員状況相談書・ヒヤリハット報告書」を全会員に送付して、ヒヤリハット情報の収集を行いました。また、就業会員へは内容に変更がなく適正に実施されているかの確認と、併せて未就業会員には希望職種や希望曜日・時間帯などを申告してもらい、適切な就業紹介ができるよう努めました。
- ⑤ 身の回りに潜む傷害・物損事故を防止するため、危険事項とその対策を講じた啓発資料を作成・配布し、注意喚起を行いました。
- ⑥ 事故発生者に報告書を提出してもらい、分析した結果の対策案を通知することで、再発防止に努めました。
- ⑦ 交通安全運動期間中には、高齢者の交通事故防止啓発のチラシ・リーフレットを、センターへ来訪した方に配布し、また、郵便物と併せて全会員にも配布するなど、交通安全の周知を図りました。
- ⑧ 新規入会者に、安全就業のための冊子や交通安全のチラシを配布し、センター活動中における安全を啓発しました。
- ⑨ 「自転車の安全利用」及び「熱中症予防について」の講習会については、例年同様に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止しました。
- ⑩ 契約内容と会員の就業状況について確認のうえ、就業先と見直し協議を行い、法令を遵守した適正就業を図りました。結果として、センターの請負就業

の形態として馴染みにくかった 24 事業所の 24 契約、会員 65 名の就業を派遣就業に切り替えました。

- ★ ⑪ 気象災害情報に関する注意喚起や緊急連絡等を、携帯電話の番号を利用した『ショートメッセージ (SMS)』により情報を配信しました。
- ★ ⑫ 熱中症予防対策として『クールタオル』を全会員に配布した結果、熱中症事故はありませんでした。
- ⑬ 災害発生時等における就業会員への安全配慮の考え方について、会員及び発注者に通知しました。
- ★ ⑭刈払機を使用する除草作業時の事故防止及び安全作業推進のため、アタッチメントを貸与しました。

## (6) 事業推進体制の強化について

- ① 法人の運営について、法令で求められている手続き等を適正に行いました。
- ② 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、万が一の職員感染による事務局機能停止を防ぐため、執務室を分け、緊急事態宣言中は時差出勤をするなど、持続可能な事務局運営体制を継続しました。
- ③ 職員 1 名を新たに採用して、事務局体制の強化を図りました。
- ④ 理事会は、全 5 回開催し、事業執行方針や規程・規則の改正など重要な案件を協議・検討し、円滑な事業運営が行えるように努めました。
- ⑤ 委員会活動は、企画総務・普及啓発・就業開拓・安全の 4 委員会体制となります。また、令和 4 年度中に現役員が任期満了を迎えるため、理事及び監事候補者選考委員会を期限付きで立ち上げました。
  - 企画総務委員会は 5 回開催し、各委員会からの報告をもって事業全般の今後の方向性について意見交換をしました。また、理事会に上程する前の重要案件について内容の確認を行い、理事会の円滑な運営を促しました。
  - 普及啓発委員会は 3 回開催し、センターの広告や会員の拡大・確保につながる PR についての意見交換などを行いました。
  - 就業開拓委員会は 2 回開催し、会員の就業の確保について意見交換をし、また、未就業会員を対象に就業相談会を 2 回行い、未就業の改善に繋げることが出来ました。
  - 安全委員会は 3 回開催し、会員の安全・適正な就業や、就業中の事故をなくすための意見交換を行いました。また、就業状況の安全の確認を行うため、就業現場 4 ヶ所の巡視を行いました。
  - 理事及び監事候補者選考委員会は 2 回開催し、令和 4 年度開催の総会で任期満了を迎える役員の次期候補者の選考を行いました。
- ⑥ 職員については、全国シルバー人材センター事業協会や千葉県シルバー人材センター連合会等の関連団体及び民間団体が主催する、オンラインや書面で開

催された各種会議・研修会に参加して知識を習得し、日常業務の円滑な執行に役立てました。

- ★ ⑦ 令和5年10月1日から導入される「適格請求書保存方式（インボイス制度）」について、関係機関と連携を図りながら準備を進め、会員には啓発資料を作成・配布し、周知しました。